

人 チーム 制度



フレックスタイム制を利用して、夫と上司の協力のもと3人の子育てをする「働くかあちゃん体験談」 その1 夫の協力編

(株) 日水コン・辻 亜紀子さん

今回ご紹介するのは(株)日水コンで水道事業の業務に携わる辻亜紀子さんです。両親が遠方のため、夫と上司の協力のもと仕事と子育てをやりくりしています。夫の協力体験談をご紹介します。

これまでの経歴を簡単に教えてください。

大学では河川工学を専攻していたため、河川の仕事に携わろうと思い当社に入社しました。しかし、水道事業部に配属され、約20年間は水道の計画業務を担当してきました。

夫との家事・育児の分担は？

フレックスタイム制を利用して、朝は夫が子どもを送り、私がお迎えを担当しています。仕事は夫の方が忙しく、休日は少年野球の親コーチもしているため、家事は私がほとんど、育児は夫婦で協力しながらやりくりしています。

出張や繁茂期等はどうのように対応していますか？

私自身もお客様もっているため、出張は欠かせません。また、夫も泊まりの出張があるため、子どもの送り迎えを交替するなど、夫婦間で出張を調整しています。業務の繁茂期になると、始発で自宅を出発し、可能な限り職場で仕事をするのですが、子どものお迎えのため帰宅時間は限られているので、業務の進め方や業務上の解決策を練る場合は通勤時間を利用します。

長男の小学校入学と長女出産の時期が重なり、私は里帰り出産であったため、小学生入学の長男を実家に預けるわけにもいかず、夫に1ヶ月の育児休暇をとってもらいました。数週間ですが男3人の生活を送った時期があり、今は懐かしく思えます。

プロフィール

氏名 : 辻 亜紀子 (旧姓使用)
 所属 : (株) 日水コン
 勤続年数 : 約20年
 資格 : 技術士
 居住地 : 埼玉県
 家族構成 : 同じ会社の夫 / 中1長男
 小5次男 / 年長長女
 勤務状況 : 通常勤務

経歴

1995年	(株)日水コン入社
2004年	技術士取得 (上下水道部門)
2004年	長男出産
2006年	次男出産
2012年	長女出産
2012年	技術士取得 (総合技術監理部門)

現在、息子が少年野球に所属しているため、土日も夫婦で忙しい毎日を過ごしています。子どもが多くなるほど、親の付き合いが増えること、様々なイベントの役員を担うこともあり、自分の時間はなくなる一方です。そのため、通勤電車での1人の時間を有意義に利用しています。



土日、祝日に朝から夕方まで活動する少年野球

現在の悩みは？

東日本大震災のとき、長女の育児休業であったため、帰宅難民にならなくて済みました。夫は電車が動かず、翌日の帰宅となりました。保育園での話を聞くと、深夜2時にお迎えにきた保護者もあり、多くの子どもが不安な思いをしたそうです。

自宅と職場(新宿)までの通勤時間は1時間30分かかりますが、兄2人は鍵っ子のため、大地震時に帰宅難民となった場合の対応が現在の大きな悩みです。頼れる親戚も近くにいないので、一緒に子育ての悩みを共有してきたママ友が頼みの綱です。このような時こそ、地域のネットワークの必要性を痛感しています。

これから働き続けるママさんへのアドバイス

女性は出産をきっかけに働く環境が大きく変わります。両親や親戚が遠方のため、家事や育児を1人でこなすことは大きな負担となるので、夫の協力をはじめ頼れる周囲の人たちからの支えが必要となります。ここで、参考にならない方もいるかと思いますが、私の経験からのアドバイスは以下のとおりです。

- ・夫の家事のやり方に口だしをしないように心がける。
- ・夫とはけんかにならない程度に適度な距離をおく。
- ・夫には家事よりも育児の機会をたくさん願います。
- ・信頼できる地域の相談相手やママ友をつくること。
- ・ただし、必要以上にママ友を増やさないこと。

これまで、保育園や学童の入園、小学校役員などの様々な壁にぶつかり、いつも子どものためなら仕事を辞める覚悟でこれらの壁を乗り越えてきました。今でもなぜか水道の仕事が続けられているのかが不思議なくらいです。

私の事例はいろいろなケースの中のうちの一事例に過ぎませんし、**育児>仕事>家事**の優先順位が私のモットーです。